

## 地歴部 活動記録 伊勢神宮初詣

「お伊勢さん」と呼ばれ親しまれる伊勢の神宮。古くから「伊勢へ七度、熊野へ三度」と謡われるほどの参宮人気を誇り、初詣ともなればそのにぎわいもひとしお。心のふるさと、伊勢の神宮へ、心新たに初春祈願とまいりましょう。



年越し餅をいただいて、豊受大御神を祀る外宮からお参りします。お伊勢参りは外宮から内宮へと参拝するのが古くからのならわし。

手水舎で心身を清めます。柄杓で水を汲み、左右の手を清め、左の手に水を受け、口をすすぐのがここでの作法。火除け橋を渡り、一之鳥居、二之鳥居をくぐると古式ゆかしい御正宮が現れます。二拝二拍手一拝でお参りします。多賀宮・風宮・土宮とお参りは続きます。

大かがり火で暖をとった後は、天照大御神を祀る内宮へ。宇治橋を渡って御正宮へ向かいます。途中、手水舎（五十鈴川）で心身を清めます。さらに玉砂利を踏みしめて、千古の杉に包まれた御正宮へ。荒祭宮をお参りして、神楽殿でお神楽を奉納して一年の幸せを祈願します。

